

警防業務の実施状況

平成22年中、火災は23件発生しており、前年の45件より22件減少しています。

この発生件数は、当消防本部が昭和58年（10月）に業務を開始して以来、過去最少の年間発生件数となっています。（昭和58年中を除く。）

火災種別では、建物火災（9件）が最も多く発生しており、次いで車両火災とその他火災（各6件）、林野火災（2件）の順となっています。

火災による損害額は、火災件数が半減しているにもかかわらず、昨年に比べ増加していますが、火災による死者は発生しませんでした。

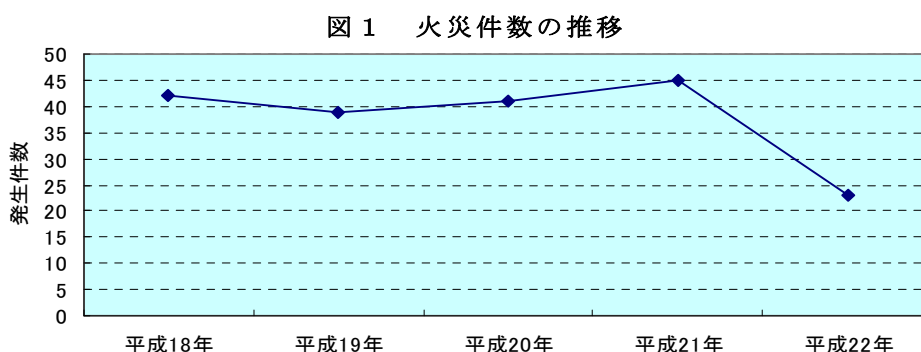
町別の火災発生件数は、印南町が7件で最も多く、次いで美浜町が6件、みなべ町が5件となっており、この3町で全体の78%を占めています。

また、火災に準ずる災害（その他災害等）は、220件で昨年より8件増加しています。

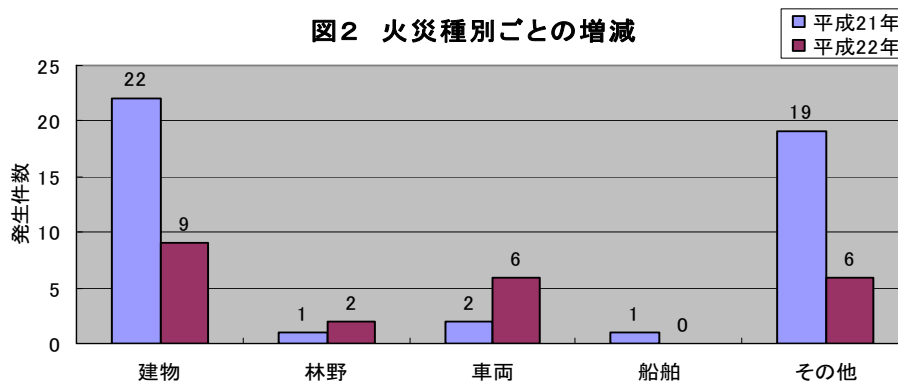
1 火災の概要(第1表～第10表)

(1) 火災件数の増減(第1表)

平成22年中の火災件数は23件で、前年に比べ22件の大幅な減少となっています。（図1）



これを火災種別で見ると、増加したのは車両火災6件（4件増加）と林野火災2件（1件増加）で、減少したのは建物火災9件（13件減少）、その他火災6件（13件減少）、船舶火災0件（1件減少）となっています。（図2）



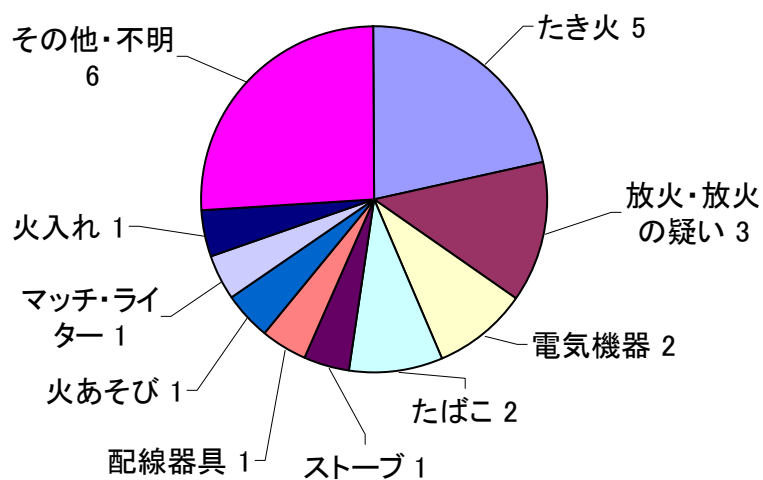
建物焼損棟数は11棟で、前年（22棟）に比べ11棟減少していますが、火災による損害額は6,338万円と前年に比べ1,765万円の増加となっています。

人的被害は、死者の発生（昨年2名）はありませんでしたが、負傷者が2名発生しています。

(2) 出火原因（第2表）

出火原因は「不明・その他」を除いて、「たき火」が5件と最も多く、次いで「放火・放火の疑い」が3件となっています。（図3）

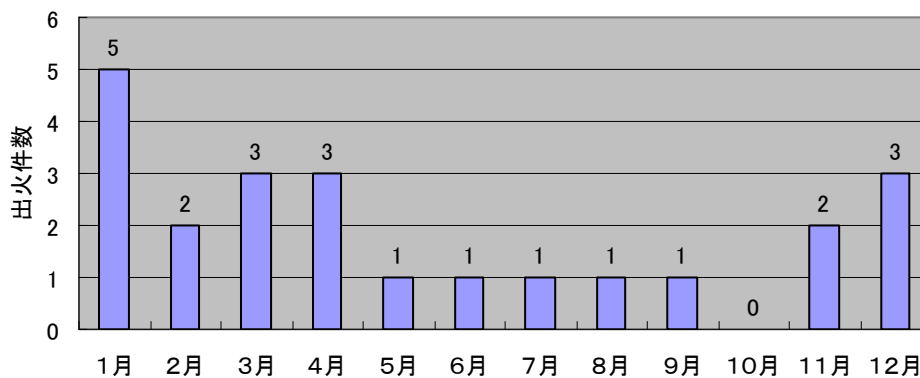
図3 出火原因割合（総件数23件）



(3) 月別の出火件数（第3表）

火災件数を月別にみると、1月に5件と最も多く発生し、次いで3月、4月及び12月の各3件の順となっています。（図4）

図4 月別出火件数（総件数23件）



(4) 町別火災件数（第4表・第5表）

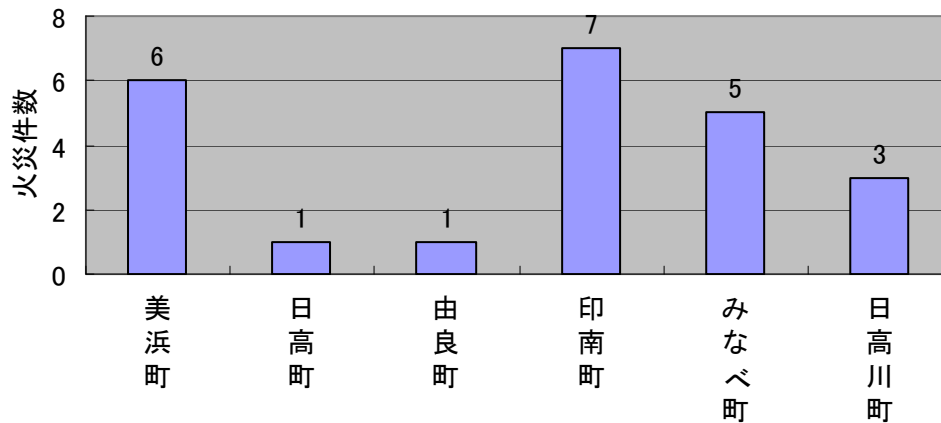
火災件数を町別にみると、印南町が7件と最も多く発生し、次いで美浜町の6件、みなべ町の5件となっています。（図5）

出火率（人口1万人当たりの火災件数）で見ると、印南町の7.6が最も高く、次いで美浜町の7.3となっています。

なお、管内全体の出火率は4.0で、平成21年中の全国の出火率とほぼ同じ数字となっています。

損害額を町別にみると、印南町が4,881万円と最も多く、次いで由良町の688万円となっています。

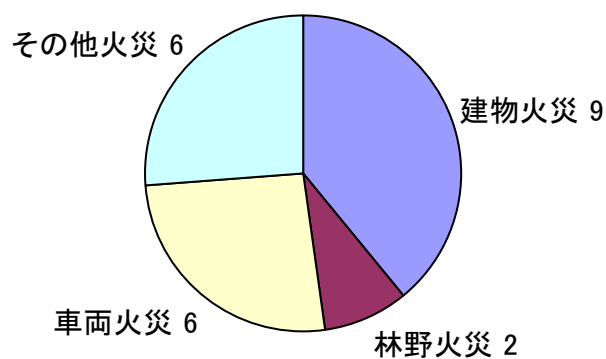
図5 町村別火災件数(総件数23件)



(5) 火災種別の割合 (第6表)

火災種別の割合についてみると、建物火災が9件で最も多く、次いで車両火災とその他火災がそれぞれ6件となっています。(図6)

図6 火災種別の割合(総件数23件)



(6) 季節別火災件数 (第7表)

火災件数を四季別で見ると、冬期が10件(43.5%)と最も多く、次いで春期の7件(30.5%),夏期及び秋期の3件(13.0%)の順となっており、春期及び冬期に火災が多く発生しています。

(7) 時間帯別火災発生件数 (第8表)

火災件数を時間帯別にみると、深夜1時から2時までの間に4件と最も多く発生していますが、比較的各時間帯に分散して発生しています。

(8) 気象別火災発生件数 (第9表)

火災件数を気象別にみると、晴れた日に16件発生しており、全体の70%を占めています。

(9) 覚知別火災件数 (第10表)

火災件数を覚知別にみると、消防専用電話(119番通報)による通報が17件で、全体の74%を占め、そのうち9件が携帯電話による通報となっています。

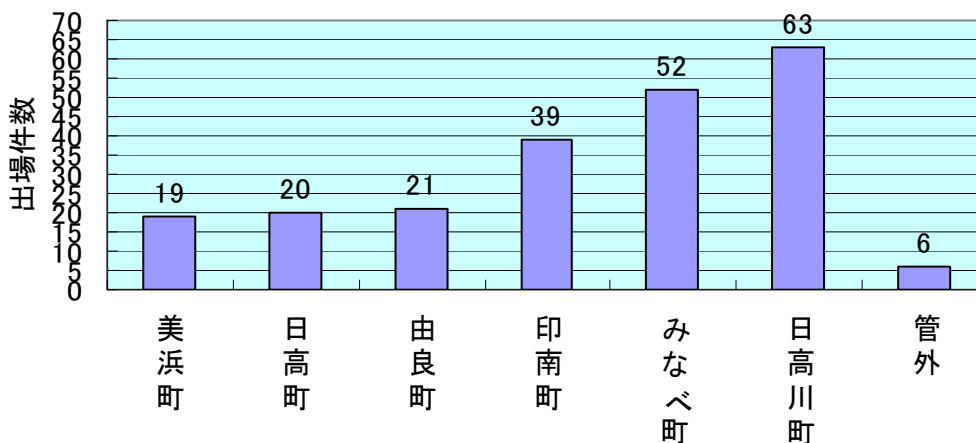
2 火災に準ずる災害の出場件数 (第11表)

平成22年中における火災に準ずる災害(その他災害等)の出場件数は220件で、前年と比較して8件の増加となっています。

内訳は、「救急支援」による出場が168件(76%)と最も多くなっています。

町別では、日高川町が63件と最も多く、次いでみなべ町52件、印南町の39件となっています。最も少ないのは管外を除けば、美浜町の19件となっています。(図7)

図7 町別その他災害等出場件数(総件数220件)



3 署所別の出場状況 (第12表・第13表)

(1) 火災の状況

火災の発生状況を署所別にみると、本署管内が9件(39.2%)と最も多く、次いで印南出張所管内の7件(30.4%)となっています。

(2) その他災害等の状況

その他災害等の発生状況を署所別にみると、本署管内が76件(34.6%)で最も多く、次いで南部出張所管内が53件(24.1%)、中津出張所管内が50件(22.7%)となっています。

